テキスト批評に基づくレジュメの作成方法

河野哲也『レポート・論文の書き方入門』（第3版、慶応義塾大学出版会、2002年）による

1st ver. 2010-12-21

|  |
| --- |
| 対象した文献の題名（書誌情報） |
| 発表の日時 |
| 所属・学生番号・氏名 |
|  |
| （1）目的の提示（5-10行ほど） |
| * どんなテーマのテキストについての批評（コメンタリー）なのか、当該部分で著者がどんな議論をしているのかごく大まかに説明する。 |
| * 以下に述べる手順についてごく簡単に紹介する。 |
|  |
| （2）要約（全体の30-40%ほど） |
| * テキストの順を追って要約（ただしメリハリをつける）。 |
| * テキスト中の重要な用語、歴史的人物、事件などについては説明を与え、テキスト理解に役立つと思われる解説を入れる。 |
|  |
| （3）問題の提起（全体の10-20%ほど） |
| * 著者の主張のうち中心的・重要と思われる点を1-2点ピック・アップする。 |
| * これについて問題提起を行う。 |
|  |
| （4）議論（全体の30-40%ほど） |
| * （3）で提起した問題について議論を展開する。 |
| * 自分の主張を論理的・実証的に裏づける。 |
|  |
| （5）まとめ（全体の10-20%ほど） |
| * 全体を要約し、結論づける。 |

|  |
| --- |
| 問題の提起・議論・結論のポイント |
| 1. 問いを立てる⇒著者の主張について、問いを立てる。 |
| * 著者の主張は正しくない⇒反論を示す。 |
| * 著者の主張は正しい。しかし、…⇒補足、追加、修正、条件付けなどをおこなう。 |
| 1. 自分の議論を支える根拠を示す⇒当然、関連する文献や資料（複数）を読み込む必要がある。 |
| 1. 結論を出す⇒問いに対する答え（論）になっている必要がある。 |